

村田康成県政活動報告

VOL.3

村田康成事務所

〒314-0408 茨城県神栖市波崎1251 TEL:0479-21-9331 FAX:0479-21-9332



令和3年第3回定例会一般質問(令和3年10月)



令和3年第3回定例会一般質問



1977年8月20日生まれ(44歳)O型
2012年 神栖市議会議員初当選
2016年 神栖市議会議員二期当選
2018年 茨城県議会議員初当選

家族……妻・両親・愛猫2匹
趣味……旅行・盆栽
座右の銘……至誠奉公
性格……頑固

Profile



新型コロナウイルス感染症が初めて確認されてから、約2年が経過しております。改めまして、お亡くなりになられた方々に、心よりお悔やみを申し上げますとともに、感染された方、経済や教育などに多大な御不便をこうむっておられる県民の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

神栖市 希望
HOMEがHOPEであふれるように!

第5波以降を見据えた 新型コロナウイルス感染症対策



県民一丸となっての取り組みにより、
過去最大の猛威をふるった
第5波の鎮静が図られたのだろうな

村田康成

○茨城県は第1波における茨城県独自のコロナ対策指針「コロナNext」の策定以降、常に国や他の都道府県に先駆けて、独自のコロナ対策を決断、実行してきました。第5波におきましても知事は、迅速に本県独自の「非常事態宣言」を発出し、県民の命を守りつつ、感染を早期にピークアウトさせるため、最大限の努力をなされました。更に強力な感染力を持つ変異株の発生なども想定し、更なるコロナ対策の強化にも取り組む必要があると考えております。

これまで県が構築してきた保健所体制、入院受け入れ体制、施設療養者等の健康管理体制などについて、万が一、第5波を越える感染拡大が発生した場合にも十分な対応ができるのか、しっかりと検証を頂きたい。

県保健福祉部長

○今後の第6波にそなえ保健所業務や本庁との役割分担をあらかじめ検証し、保健所のバックアップ体制を構築しておくなど機動的に対応できる体制を整えて参ります。

県といたしましては引き続き県民の皆様に基づ的な感染対策をお願いするとともに県民の命と健康を守りぬくため、医師会等の協力を得ながら、第5波の成果と課題を踏まえ、スピード感をもって体制構築に取り組んで参ります。

最新の
現況は
こちらから→



コロナ対策指針 (茨城版コロナNext Ver.4 令和3年12月23日改定)

茨城版コロナNext Ver.4

茨城県全体	Stage4	Stage3	Stage2	Stage1
判断基準	【感染爆発・医療崩壊のリスクが高い状態】 病床稼働数 287床超/日 - 重症病床稼働数 24床超/日 週平均陽性者数 100人超/日 - 経路不明者数 40人超/日	【感染が拡大している状態】 病床稼働数 287床以下/日 - 重症病床稼働数 24床以下/日 週平均陽性者数 100人以下/日 - 経路不明者数 40人以下/日	【感染が概ね抑制できている状態】 病床稼働数 185床以下/日 - 重症病床稼働数 7床以下/日 週平均陽性者数 60人以下/日 - 経路不明者数 25人以下/日	【感染が抑制できている状態】 病床稼働数 67床以下/日 - 重症病床稼働数 7床以下/日 週平均陽性者数 20人以下/日 - 経路不明者数 10人以下/日
国への要請	■緊急事態宣言の発令を国へ要請	■まん延防止等重点措置区域の指定を国へ要請	□発令等は要請しない	□発令等は要請しない
県民	■混雑した場所等への外出・移動の自粛、県外との往来自粛(★)を要請	■高リスク者は外出注意 ■状況に応じて県外(※)との往来自粛(★) (※緊急事態宣言地域及びまん延防止等重点措置区域)の要請を検討	□外出自粛は実施しない	
事業者	■宣言発令時等において、営業時間短縮等の要請、会食の人数制限等(★)、イベント等開催制限(★)などの措置を実施	■状況に応じて会食の人数制限等(★)の要請を検討	□制限・時短等は要請しない	
学校	■状況に応じてリモート学習や分散登校を実施 ■部活動を制限 (市町村立学校も同様の対応)	□通常登校・通常授業 ■状況に応じて部活動を制限 (市町村立学校も同様の対応)	□通常登校・通常授業 (市町村立学校も同様の対応)	□通常登校・通常授業 (市町村立学校も同様の対応)
行動制限の緩和	■制限緩和の停止 ★ワクチン・検査パッケージ制度適用による行動制限の緩和			□行動制限は実施しない
国指標との対応	レベル4 避けるべき	レベル3 対策を強化すべき	レベル2 警戒を強化すべき	レベル1~0 維持すべき~感染者0

(注) (★)印は、ワクチン・検査パッケージの適用により、行動制限を緩和する項目

鹿行地域における医師確保の成果と課題並びに医師の地域偏在の是正 神栖済生会病院における新病院整備への支援

村田康成

- ◎救急医療の充実強化や、産婦人科医の確保、小児科医の更なる確保などを求める声が多数寄せられており、地元住民が、地域医療体制の現状に、不安を感じ続けていることも事実であります。
- ◎特に、他の医療圈と比べ、感染者の入院受け入れ病床が確保できていなかった鹿行医療圏におきましては、感染症に対応できる医療施設等の整備は、早期に改善されるべき課題であります。

県保健福祉部長

- ◎鹿行地域におきましては寄附口座の設置や、自治医科大学を卒業した県職員医師派遣により医師確保を進めており、一定の成果があつたと考えています。また更なる医師の地域偏在の是正に向けて、新たな「医師配置調整スキーム」に取り組んでおり、新たに筑波大学等への派遣要請を行うなど、鹿行医療圏の調整会議において救急医療体制の確保・充実に向けた派遣要望の方針について合意を得たところです。今年度から鹿行医療圏を地域医療構想のモデル医療圏に選定し将来の医療重要を見据えた医療機能の分化・連携に取り組んでおります。

**医師確保計画に記載の
医師の派遣(配置)
調整スキーム**

**②地域偏在、診療科偏在、政策医療機能等
における必要性・重要性を審議**

**対策協議会や
支援センターの
権限強化で
大学などから医師が
派遣されやすくなつた
ということですね?**



医師派遣要望調査の実施

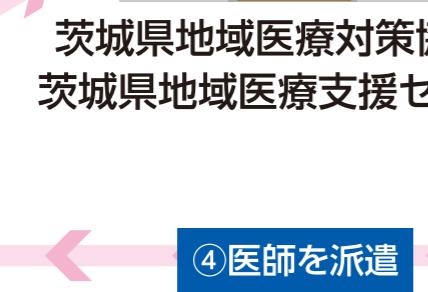
①医師派遣を要望

茨城県地域医療対策協議会
茨城県地域医療支援センター

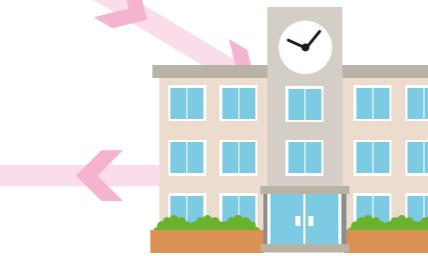
③医師の派遣を要請



県内医療機関
地域の中核病院
救急・小児・周産期等の政策医療機関



④医師を派遣



筑波大学等
医師派遣大学

**県による、献身的な
医師確保などの取り組みにより
筑波大学との連携が進むと同時に
常勤医師の確保や
診療科の充実などの成果が
着実に
積み上げられてきました**

**目指せ
地域の拠点病院!!**

村田康成

- ◎神栖済生会病院と鹿島労災病院の、再編統合基本構想が決定されてから、約3年半が経過いたしました。新しい病院長の下、経営の改善や診療体制などの充実強化に向けた「病院改革」が進められており、先般、「新病院整備基本計画」も策定されたところであります。
- ◎県におかれましては、引き続き医師や医療スタッフの確保・育成等に尽力いただくとともに、新たな神栖済生会病院が、鹿行地域の地域医療を担う「拠点病院」として大きく成長を遂げ、医師不足・医師偏在解消のモデルケースとなるよう、手厚い御支援をいただけますようお願い致します。

県保健福祉部長

- ◎神栖済生会病院は救急医療の面でも、院長の強いリーダーシップや救急専門医の確保などにより、地域における急性期医療を担う体制が整備されつつあるものと認識しております。県といしましては、鹿行地域の医療提供体制の充実を図るために、神栖済生会病院が、鹿行地域の安心・安全を守る重要な中核病院としての使命を果たしていくよう、引き続き、新病院整備や機能強化に対する支援にしっかりと取り組んでまいります。

鹿行地域における 水道供給体制の確保

**神栖市の水道は
断水の一歩手前でしたよね**

村田康成

- ◎2年前に上陸した令和元年房総半島台風は、千葉県を中心としたエリアに甚大な被害をもたらすとともに、鰐川浄水場から神栖市へと供給されている生活水が、一時的に供給停止となる事態を発生させました。
- ◎このため、2年前の一般質問において私は「神栖市に生活水を供給する浄水場に、非常用電源設備を設置すべきではないか」と問い合わせさせて頂きました。私は、安定した水の供給は、県民の「安心安全な生活」を守るために大変重要な県事業であり、非常時における水の供給シミュレーションなども実施し、万全な供給体制を整備しておく必要があると考えます。



**令和元年12月に
検討に着手いたしました。**

企業局長

- ◎緊急事態への備えとして、新たな非常用電源装置の設置を検討し、基幹浄水場である鹿島浄水場への設置が最適であるという結論に至り、昨年(令和2年)7月に関係5市からの合意を得て本年(令和3年)3月から非常用電源設備の制作や建屋の建設を進めており、今年度末には完成する予定であります。

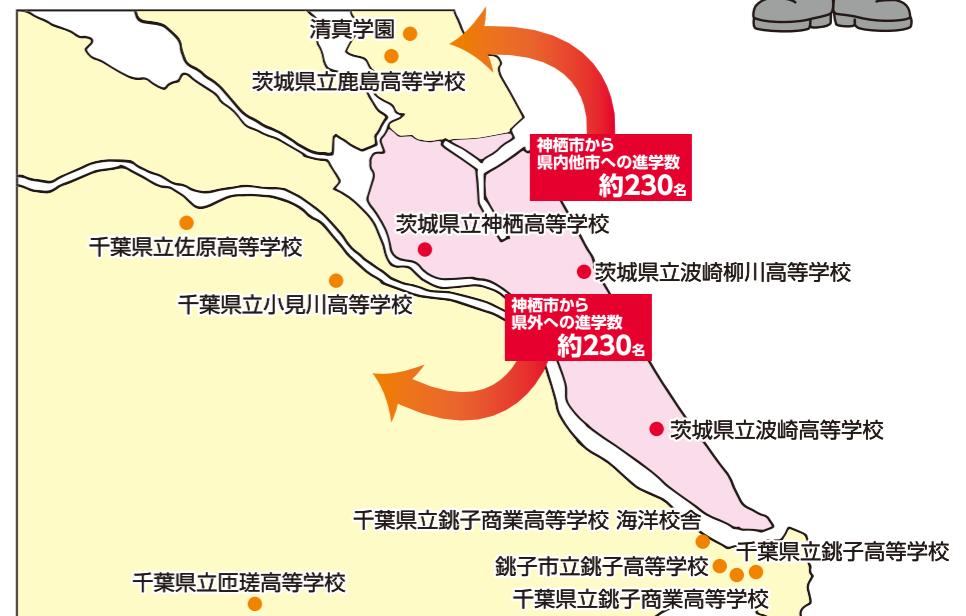
**これで停電しても
断水の心配はなくなるかな?
これからも
「地域の安心・安全」のために
訴えていくぞ!!**



神栖市における 高校教育の課題改善と 地域の未来を担う 人財育成について

村田康成

- ◎波崎高校、波崎柳川高校および神栖高校による努力にもかかわらず、市内の中学校を卒業した約800人の生徒のうち、400人以上が市外や県外へと進学している状況が続いている。「地域の人財を、地域で育成できる県立高等学校づくり」(千葉県や他市に行かなくても地元で学べる環境)を進める茨城県の教育長には、改めて、この課題を再認識いただき、課題の改善が図られないまま、市内3校が統廃合などの対象とされることのないよう強く要望をさせて頂きます。他方、グローバル化が進み、地球規模で議論し、行動していくなければならない「新しい時代」においてこそ、高校生への「郷土教育の充実」が重要になると考えます。



※令和2年度、中学3年生の子供の数は約800名

県教育長

- ◎神栖市内の県立高校3校では、ここ数年、志願者が定員に満たない状況が続いており、その一因として、市内の中学卒業生のおよそ半数が市外の高校へ進学している状況があります。特に以前から大学進学で実績をあげている県外の高校を志願する傾向が強いことから、「学力向上」への取り組みが生徒に選ばれる学校づくりにつながるものと考えております。

**県外や他市に行かなくても
十分に教育できる環境を作るべきだ**



日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区における高炉休止決定までの対応とその影響への支援策

村田康成

- ◎今年(令和3年)3月、日本製鉄の鹿島地区における高炉1基が、2024年度末を目安に休止することが発表されました。この発表と同時に、地元市をはじめ広く鹿行地域に大きな衝撃が走り、今後の生活や雇用を心配する声も、多く聞かれているところであります。
- ◎私たちは今後も、「鉄鋼産業・石油化学産業の再編・統合」があり得るのだという危機感を持つべきと考えます。県には、今回の日本製鉄の高炉休止への認識を、新たにし、地元の住民が感じている「明日への大きな不安」を、受け止める努力をして頂けるよう、強くお願い致します。
- ◎そこで、県として、この決定が社会・経済生活に与える影響を分析し、その結果に基づく支援策に取り組むべきと考えますが、知事の御所見をお伺い致します。



今後地域経済や雇用自治体への税収にも大きな影響があるだろうな

知事

◎日本製鉄は影響を受ける従業員数や処遇の方針等を公表しておらず、現時点での影響の度合いを測ることは極めて困難であります。しかしながら関連会社や取引先はもとより、地域の商業や教育、医療・福祉、公共交通など、幅広い分野に影響が及ぶ可能性があり、不安を感じている方も少なくないと考えております。県といたしまして、関係機関と連携しながら、日本製鉄などからの情報収集や分析に努めるとともに地域の皆さまの立場に立ち、必要な対応策を検討してまいります。



鹿島臨海工業地帯の未来像と「いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクト」の取り組み

村田康成

- ◎「カーボンニュートラル」、「脱炭素化」は、今や全世界共通の実現目標となりました。一刻も無駄にしない「脱炭素化」への適応と対応が必要であることは、言うまでもありません。できるだけ早期に、具体的な「新しいカーボンニュートラル鹿島」の未来像を示して頂けるよう、強く要望いたします。

知事

◎鹿島臨海工業地帯は製品の製造過程で多くのエネルギーを消費するなど、現状のままではカーボンニュートラルへの対応が極めて難しく多くの企業が重大な経営判断を迫られている状況にあります。県におきましては5月に「いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクト」を立ち上げ、鹿島臨海工業地帯をはじめとする本県の臨海部をカーボンニュートラル社会にふさわしい姿に変貌させるための枠組みを整えたところでございます。特に鹿島臨海工業地帯には、エネルギーの需要と供給を担う企業が集積し、企業関連携の基盤もありますことから、次世代エネルギーのサプライチェーンを先導的に構築する為の適地であると考えております。そこで、規制緩和や税財政支援など、企業の立場に立った支援策を県から能動的に提案するなどして、民間による先進的な取り組みを本県に誘導し、カーボンニュートラル社会にふさわしい産業拠点づくりを進めてまいります。



臨海部カーボンニュートラルの全体像

港湾の存在と関連産業・研究機関の集積という本県のポテンシャルを活かし茨城臨海部をカーボンニュートラル社会にふさわしいかたちに変貌させる

